

7月度(例会)個人山行報告書		報告者	谷口	参加メンバー	CL 森古、谷口
		報告日	8/22		
山域	後立山連峰	山行日	2019/7/27(金)~28(土)		
山名	五竜岳				
山行目的	百名山踏破		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



7/27(土) 晴のち雨  
3:00 本社P集合、出発  
7:30 スキー場P着  
8:20 リフト降り場発  
9:30 小遠見山  
10:00 中遠見山  
10:30 大遠見山  
11:40 西遠見山  
13:00 白岳  
13:10 五竜山荘着

7/28(日) 雨のち晴  
5:10 五竜山荘発  
6:00 五竜岳山頂  
7:00 五竜山荘着  
7:40 撤収、下山開始  
11:00 リフト降り場着  
12:00 竜神の湯(温泉)  
17:30 本社P着、解散

〈山行報告〉

7/26(金)に太平洋で発生した台風6号が東海地方に上陸しようとしていたが、長野北部は影響をそこまで受けないと判断し予定通り出発。本社P集合時は小雨が降っていたが、長野北部まで行くと雨はなく一部青空が見え、常念岳がきれいに見える天気だった。

スキー場Pに止め、準備をして出発。テレキャビン(ゴンドラ)、リフトに乗り標高を上げると早くも雲の中に入り、展望が限られてしまう。小遠見山、中遠見山、大遠見山、西遠見山とアップダウンが続き、適宜休みながら登っていく。最後の西遠見山を越えると最後の急な登りがある。雨や霧で濡れている鎖場を気を付けて登り、五竜山荘につく。一日目に五竜岳山頂へ行くか悩むところだったが、明日の天気に期待することに決定。テントを張り早くから宴会開始。晩御飯はサトウのごはんとレトルトカレー、おつまみ。20時ころ就寝。夜間は雨風が強く、テント内部が浸水する事態に。フライシートの固定をより強くするべきだったと思われる。

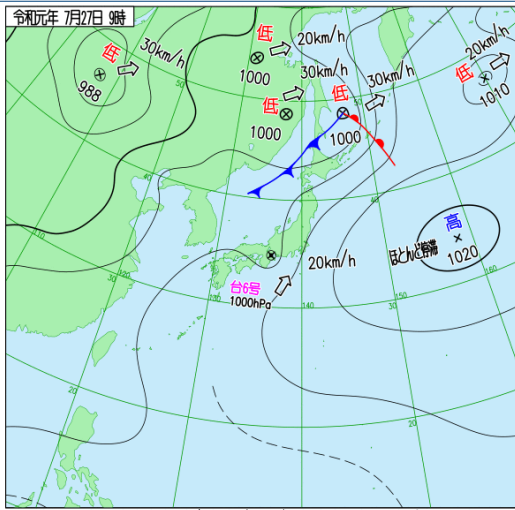
朝、こまめに外の様子をチェックするも霧、風はなくなりず。最終的に4時半に起床し、朝ご飯をすませる。テントと荷物をそのままにして雨の中山頂へ向かう。山頂付近の岩場でライチョウに遭遇した。霧で山頂の位置を間違えそうになりながらも山頂到着。てぬぐいで記念撮影をし、あまり展望もよくなる天気だったため、すぐに下山開始した。

下山中も展望は改善せず。しかし小遠見山周辺まで来ると八方尾根が見えた。テレキャビンを降りると下界は日差しが強く、暑いことに驚く。スキー場内の温泉に入浴して、本社まで帰った。

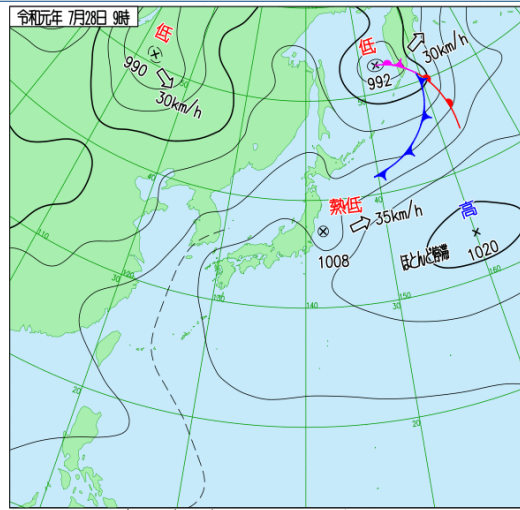
確認  
(リーダー)  
森  
19.08.21  
(朋)  
作成  
(報告者)  
谷口

〈リーダー所見〉

- ・昨今台風接近時には交通機関の計画運休など安全サイドの判断も多くみられるが、天気予報精度の向上も踏まえ、冷静な判断にて計画通り山行実施、無事登頂を果たすことができた。初日の登高時は雨具を着ずに済んだし、夜の台風接近も現地では不安を感じるほどでもなかったことを記しておく。
- ・テント浸水は風圧によるフライと本体の密着が原因。中間の張綱もサボらずに張らねばと反省。
- ・参加3名と小さいパーティになってしまったが、結果的にテキパキと行動も早くてよかった。
- ・森個人は久しぶりの登山で足が攣りそうでペースを乱してすみませんでした。古さんは言うまでもなく谷口さんも良いペースで歩を進め、岩稜でも不安はありませんでした。楽しかったです。皆さんに感謝。



7/27(土) 9時の天気図



7/28(日) 9時の天気図



テレキャビン降り場から  
すでに霧の中に



見えそうな景色は雄大



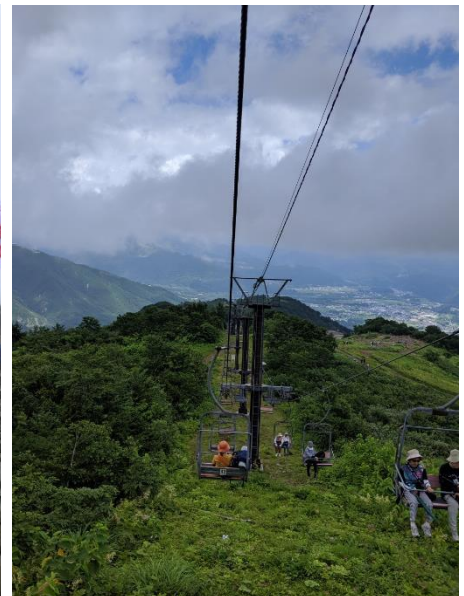
エスペースを設営  
雨にも関わらずテントは多い



山頂前の岩場で遭遇した雷鳥



無事登頂！



リフト付近まで帰ると  
空が見えていた